

2 自分の事を話そう、 人の事を知ろう。①

2 自分の事を話そう、人の事を知ろう。①

- *家族です。 家族は？
- *家族は何人です。
- *誕生日はいつですか？
- *誕生日は〇月〇日です。



※取り組みにおいて、いつも学習者の気持ちをひきつける努力（声のトーン・表情・身振りなど）を心がけましょう。

(1) 自分の事を話そう

- ① 家族を紹介する・・・お父さん・・・。家族です。家族は4人です。
家族写真・家族カード（大・小）・家族図台紙・人の数え方表を使います。

S1
お父さん
お母さん
お兄さん
私
家族です。

S2
夫
娘
私
家族です。

- ・ S1・S2が自分の**家族写真**を取り出して、見せながら、“お父さん・お母さん・・・”と言います。
*必ずしも自分の写真である必要はありません。
- ・ **家族写真**を手で大きく丸く囲みながら“家族です。”と言います。

*市販されていた家型ボックスに、家族写真と家族カードを入れておもむろに取り出すと、とても盛り上がりました。



〔取り上げることば〕

- ・ お父さん・お母さん・お兄さん・お姉さん
弟・妹・私・夫・妻

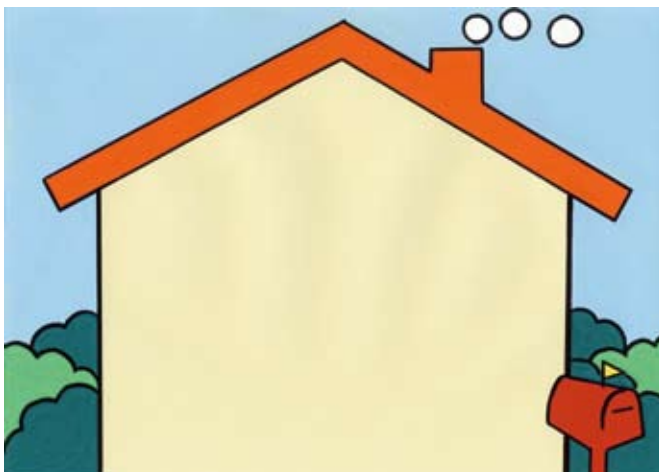
〔様子をみて加えることば〕

おじいさん・おばあさん

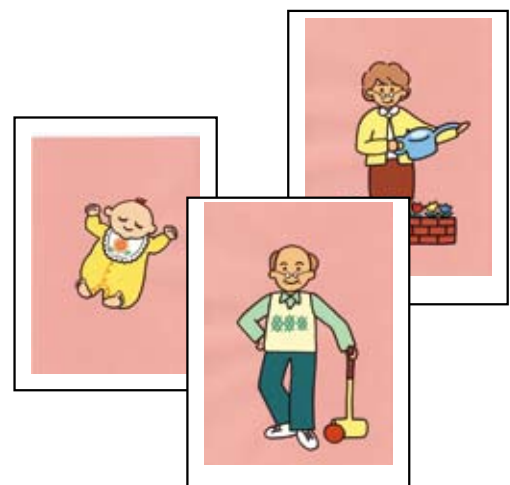
*学習者がお兄ちゃん・お姉ちゃん・おじいちゃん・おばあちゃんを覚えていたら、そのままです。



- ・ S1が**家族カード**を見せながら言って、全員で繰り返します。
- ・ さらに一人ずつ言ってもらいます。
- ・ 学習者が言いよんだらS2に振り、それを聞いてもらってもう一度すすめましょう。



家族図台紙



家族カード (小)

- ・ 参加者がそれぞれの**家族図台紙**に**家族カード (小)**を貼り、自分の**家族図**を作ります。さらに、名前などを自分で書き込みます。

S1
家族です。
お父さんです。お母さんです。お兄さんです。私です。
家族は4人です。

- ・ 出来上がった**家族図**を持って、家族を紹介します。
- ・ 家族の人数は、**人の数え方表**で確認して言います。

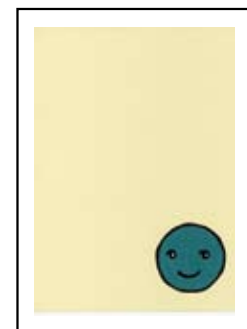
S2
家族です。
夫です。娘です。私です。
家族は3人です。

人の数え方表		人数	
	ひとり		じゅうにん
	ふたり		きゅうにん
	さんにん		はちにん
	よにん		しちにん
	ごにん		ろくにん

L1
家族です。
夫です。私です。
家族は2人です。

人の数え方表

- ・ どうしても「です」を忘れてしまう学習者がいたら、右の「ピリオドカード」を使ってください。「です」と言う時にサッと出して見せます。



ピリオドカード

＊もうすぐ一人目の子どもが生まれる学習者が、自分の夢の家族図を作ってくれました。



① 誕生日を言う・・・誕生日は、1月19日です。

カレンダー・日付の言い方表・指し棒を使います。

S=スタッフ

L=学習者

☆S1はS2の取り組み中、鼻歌を歌いながら学習者の反応をよく見て、その日付が誕生日だと気づいている学習者を見つけます。

S1
こんばんは
〇〇です。

S2
こんばんは
△△です。

L1
こんばんは
□□です。

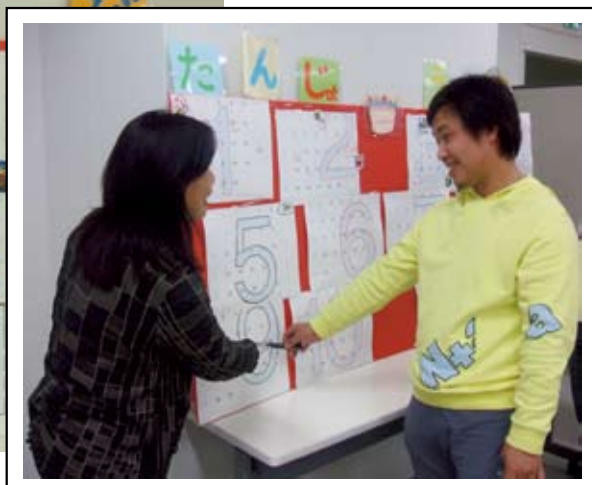
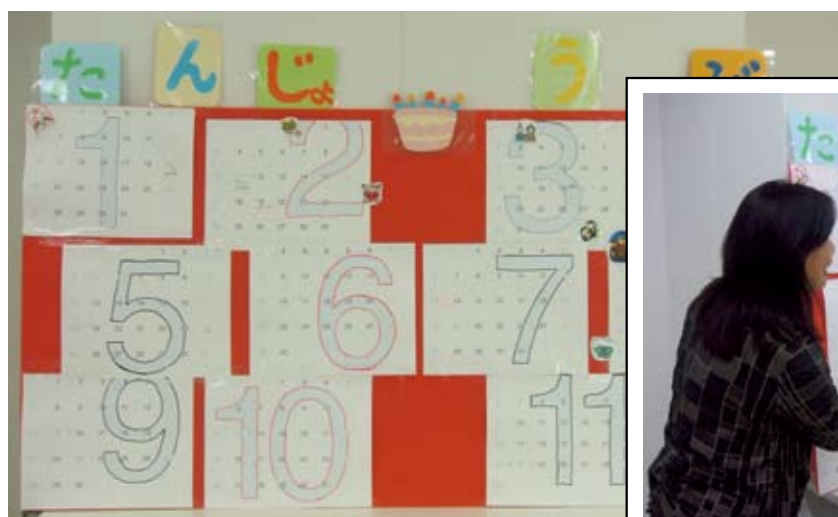
・ S1は挨拶してから、**カレンダー**の自分の誕生日を丸で囲み、ローマ字(または、ひらがなで名前を書きます。

S2はその間ハッピーバースデーの歌を鼻歌で歌っています。

・ S2にマーカーを渡します。

・ S2はS1と同様に名前を書いて、マーカーを返します。

- ・ 誕生日だと気づいている学習者に好きな色のマーカーを選んでもらって、「こんばんは、☆☆です。」と言って**カレンダー**に書き込んでもらいます。
- ・ もし誰も誕生日だと気づかなかった場合は、対訳表をチラッと見せましょう。
- ・ 参加者全員に**カレンダー**の自分の誕生日に印をつけてもらいましょう。



カレンダーに書かれた印を示しながら「誕生日」と「一人ひとりの誕生日の日付」を言う練習をしてから、次の取り組みを始めます。

指し棒



竹の棒・鉛筆キャップ・
おもちゃのケーキ・色クリップで、
お誕生日用指し棒の出来上がり！

日付の言い方表



S1

こんばんは
〇〇です。

誕生日は、〇月〇日です。

- ・ カレンダーの自分の誕生日を**指し棒**で示しながら言います。
- ・ 学習者の様子を見て、分からないようだったら、S2に**指し棒**を渡します。

- ・ 気づいたような学習者がいたら**指し棒**を渡します。

L1

こんばんは
□□です。

誕生日は、□月□日です。

S1

□□さん。

誕生日は、□月□日ですね。

S2

こんばんは
△△です。

誕生日は、△月△日です。

S1

△△さん。

誕生日は、△月△日ですね。

L1

こんばんは
□□です。

誕生日は、□月□日です。

S1

□□さん。

誕生日は、□月□日ですね。

(2) 人の事を知ろう

① 誕生日を聞く・・・誕生日はいつですか？

?カード・カレンダー・日付の言い方表を使います。

S1
△△さん、誕生日はいつですか？

S2
△月△日です。

S1
△月△日ですね。

- ・ 首をかしげ、**カレンダー**の上で**?カード**を動かしながら、S2にたずねます。

- ・ S2は、印のついた誕生日を指し示しながら答えます。

- ・ 次にL1に同様に聞きます。

S1
□□さん、誕生日はいつですか？

L1
□月□日です。

S1
□月□日ですね。



- ・ L1に**?カード**を渡し、L2に語りかけるようにすすめましょう。

② 家族について聞く・・・家族は？

?カード、(1)－①で作った**家族図**を使います。

S1
△△さん、家族は？

- ・ **?カード**を使いながら、S2に話しかけます。

S2
家族は、
夫・娘・私です。

- ・ S2は①で作った自分の**家族図**を見ながら答えます。

S1
ご主人・娘さん・△△さんですね。

S1
□□さん、家族は？

- ・ 首をかしげ**?カード**を使いながら、L1に話しかけます。
- ・ L1は、(1)－①で作った**家族図**を見ながら答えます。
- ・ “お父さん、お母さん・・・” など、言い方を忘れていたらS2がサポートしましょう。

L1
家族は、
お父さん・お母さん
お兄さん・私です。

S1
お父さん・お母さん
お兄さん・□□さんですね。

- ・ L1に**?カード**を渡し、L2に語りかけるように促します。



何度も繰り返し言ってもらって、ことばと表現の定着をはかりましょう。

(3) ミニ・スピーチをしよう

S1
はじめまして。
〇〇です。
誕生日は〇月〇日です。
家族は4人です。
お父さん#### (名前)
お母さん**** (名前)
お兄さん@@@@ (名前)
私です。
どうぞ、よろしく!!

- ・ 発表は**家族図**をホワイトボードにはったり、手に持ったりして、みんなに見せながら行います。
- ・ S2も続けて発表します。
- ・ “はじめまして、どうぞよろしく” は初めて聞く学習者もいるかもしれませんが、S1・S2が例を見せることで理解してもらいましょう。
- ・ S2に続いて、L1、L2・・・と発表していきます。

全員
ありがとう
さようなら
また来週

- ・ 最後にみんなで挨拶をして終わりましょう。



学習者に挨拶の言葉を教えてもらいましょう。
私達には、発音が難しいかもしれませんね。

にほんご	portugués	中国語	Indonesia	Pilipino
ありがとう	Obrigado	谢谢	Telima kasih	Salamat
さようなら	Até logo	再见	Salamat tinggal Selamat malam	Aalis na ako Paalam
また、らいしゅう	Até semana que vem	下周见	Sanpai Jumpa Minggu Selamat	Sa muling pagkikita sa isang linggo



誕生日と家族 応用編

カレンダーを持って、教室内で誕生日を聞いてまわりましょう。取り組む時は、前もって他のスタッフと打ち合わせをしておきます。

学習者にインタビューを受けてもらえるといいですね。



- ①～④を練習してから聞きに行きましょう。付き添うスタッフが「すみません、ちょっといいですか？」と声をかけて、「こちらは□□さんです。」とそれぞれを紹介します。

①

□□です。お願いします。

②

△△さん、誕生日はいつですか？

③

△△さん、家族は何人ですか？

④

ありがとうございました。

- 名前と誕生日と家族の人数を聴きとり、自分が書きたい文字でシートに書きます。

すみません、
ちょっといいですか？

naeae	tanjoobi	kazoku

ありがとうございました!!

- インタビューを終えてグループに戻ってから、シートを見ながら報告しあいましょう。

＊＊さんです。

誕生日は、＊月＊日です。

家族は＊人です。

3 自分の事を話そう、
人の事を知ろう。②

3 自分の事を話そう・人の事を知ろう ②

*〇〇がすきです。 *〇〇が好きですか？
 *はい、好きです。 *いいえ、好きじゃないです。
 *〇〇が欲しいです。

好きなもの、
好きなことを
言いましょう。

※ まず、スタッフ 1 が学習者に話しかけてください。

学習者が分からなかったり上手くできなかったりした場合は、スタッフ 2 に話しかけてスタッフ 2 が例を示し、再び学習者に話しかけてください。学習者の言葉には、必ず応えましょう。

学習者 1 が発話したら、学習者 2・学習者 3・・・へ同様に話しかけます。

(1) 好きなものを言う

① 自己紹介で使えるような趣味やものの名前を言う。・・・「〇〇」

絵カードを使います。

- ・ カードのジャンルや枚数などは、参加者に適したものを選びます。
- ・ 万人向けの食べ物、若い人向にスポーツ、女性向にアクセサリーなど何種類も用意しておきましょう。



果物編



動物編



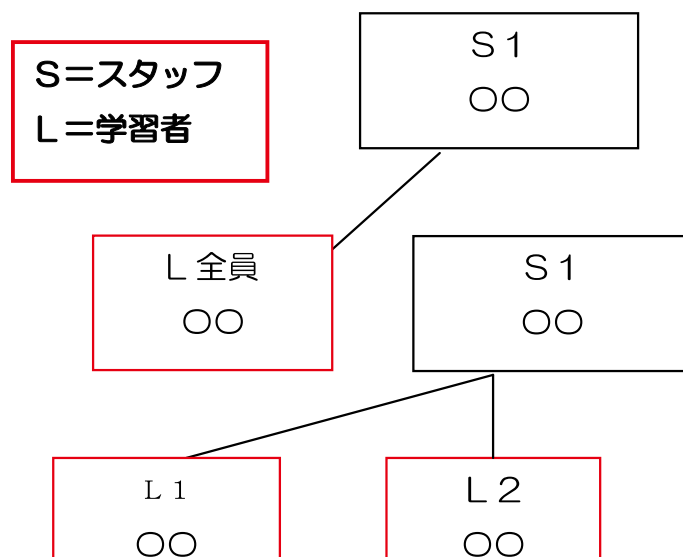
遊び編



音楽編



スポーツ編



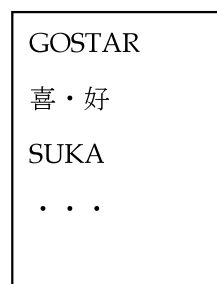
- ・ 同じジャンルの絵カードを5枚程度用意します。
- ・ S1 が学習者に絵カードを見せながら言って、全員にくり返してもらいます。
- ・ 一人ひとりが言う、好きなカードを取って言うなど、何回も言えるように工夫してくり返します。

② 好きなもの・好きなことを言う・・・いちごが好きです。

①で使った**絵カード**・**赤いハートカード**を使います。

<たとえば果物カードを使った場合>

- ・ **果物カード**を並べ、その中から一枚選んで、学習者の反応を待ちます。
- ・ 名前を言ったら笑顔で大きくうなずき、カードを胸に抱きしめます。
- ・ **赤いハートカード**を出し「好きです。」を繰り返します。
- ・ 「好きです。」の意味が分からないようだったら、母語が書いてあるカードの裏面をチラッと見せます。



- ・ S1が2枚のカードを見せながら言います。

- ・ うなずくなど、分かったような学習者に「あなたは？」って感じの動作で、カードを選んで言うように促します。

S1
いちご、好きです。
好きです。
いちごが好きです。

- ・ 無反応だったら、S2にふって再度例を見せます。

L1
ぶどうが好きです。

L1
???

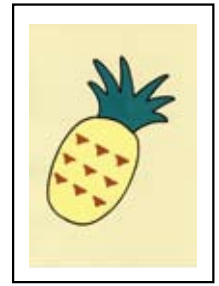
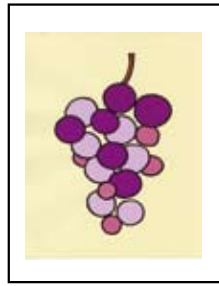
S2
バナナが好きです。

S1
ああ、ぶどうですね～。



S1
ああ、バナナですね～。

全員に言ってもらって理解できたようだったら、
全部の**果物カード**を使って練習しましょう。



S 1
みかんが好きです。

L 全員
みかんが好きです。

- ・ スタッフ1 が学習者に**果物カード**を見せながら言う、学習者全員で後について繰り返してもらい、一人ひとりに言ってもらい、カードを見せる役を学習者にしてもらいなど、工夫して何回も練習します。

S 1
カードを見せる。

L 1
バナナが好きです。

L 2
パイナップルが好きです。

・ ・ ・



学習者が楽しそうで余裕があるようだったら、
違うジャンルの絵カードを使って
同じようにくり返します。
いつも学習者の様子を見ながら、
プランに縛られず、臨機応変に対応しましょう。

③ 好きなもの・好きなことを聞く・・・いちごが好きですか？

②で使ったカード・赤いハートカード・？カードを使用します。

S 1
いちごが好きですか？

・ 果物カード・赤ハートカード・？カードの三枚
を見せて質問します。



S 2
はい、好きです。

・ 果物カードと赤いハートカードを持って答えま
す。

S 1
ああそうですか～

・ 「か？」と「か～」の上げ下げをはっきり表しましょう。

S 1
みかんが好きですか？

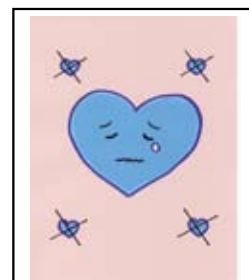
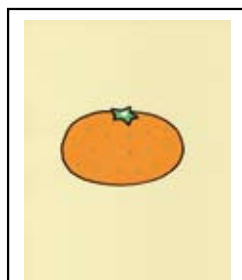
・ 果物カード、赤いハートカード、？カードの
三枚を提示して質問します。



S 2
いいえ、好きじゃないです。

・ 果物カードと青いハートカードを持って、首を
振りながら嫌そうな顔をして答えます。

S 1
ああそうですか～



赤いハートカード

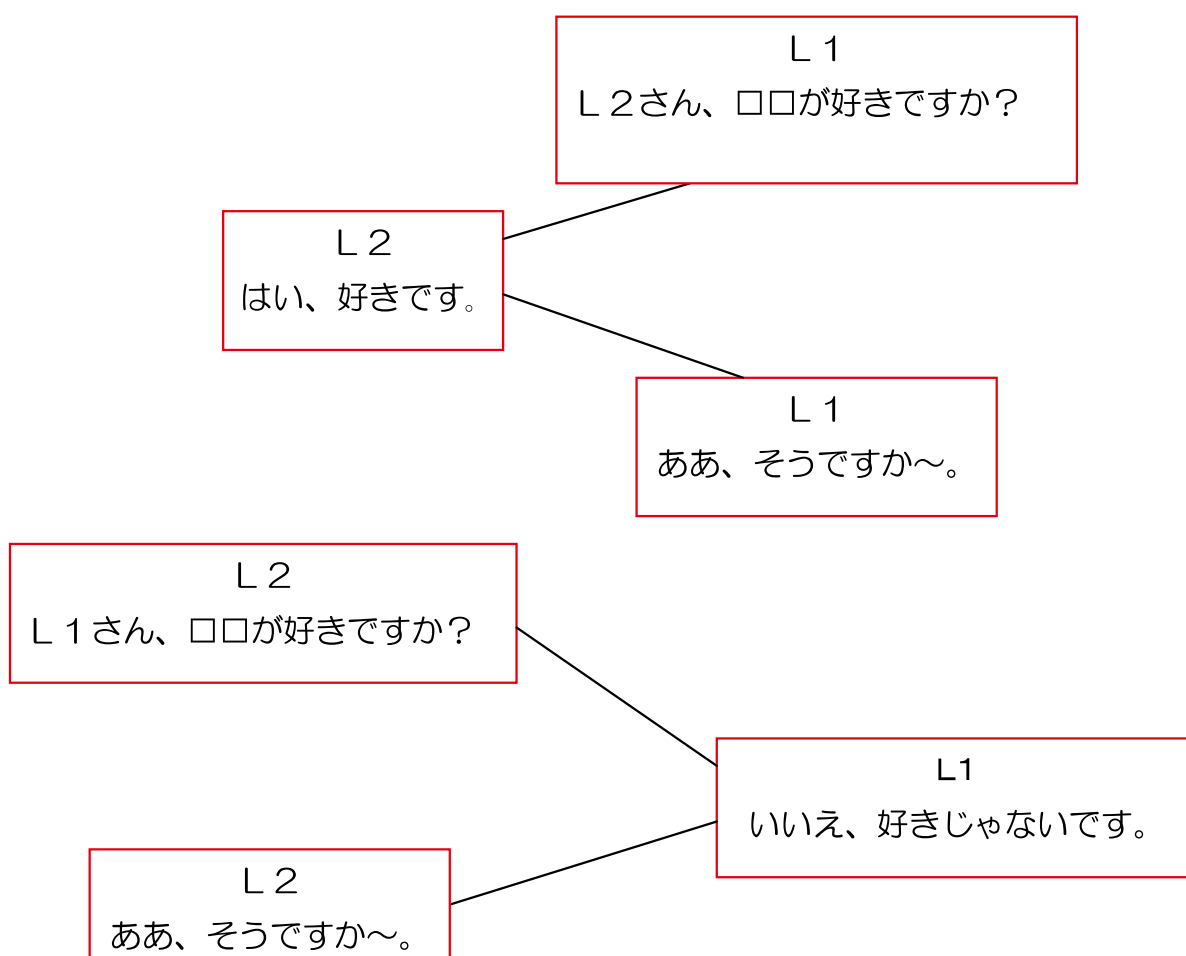
を見せて、「好きです。」を一人ひとり言ってもらいます。



青いハートカード

を見せて、「好きじゃないです。」を一人ひとり言ってもらいます。

- ・ 学習者にペアになってもらい、カードを渡して質問と回答をくり返し練習してもらいます。



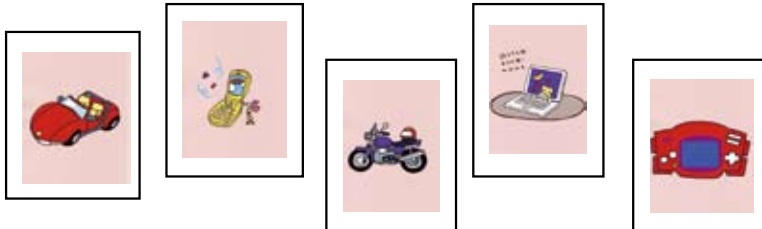
ペアを変えたり、カードを変えたりして
何度も練習しましょう。

(2) 欲しい物言う。

① 名前を言う・・・車・携帯・・・

宝箱・品物カード（大・小）を使用する。

- ・ 学習者の年齢や性別などを考慮して、絵カードの中から欲しがりそうなものを5枚程度選んで並べます。



- ・ 1-(1)と同様にカードの名詞を繰り返し言います。

② 欲しいものを言う・・・車が欲しいです。



S1
車、車、車
好きです。
車が好きです。

- ・ **品物カード**の中から一枚を選んで、名詞をくり返します。
- ・ **赤いハートカード**を出し「好きです。」
- ・ 2枚のカードを並べて持って、「〇〇が好きです。」

- ・ **品物カード**を胸に抱く、あるいは上着の内側に入れるなどしながら、「ほしいです。」「〇〇がほしいです。」と言います。

S1
欲しいです。
車が欲しいです。



- ・ うなずくなど、分かったような学習者から「あなたは？」って感じの動作で促し、**品物カード**を選んで言ってもらいます。

- ・ 「はい、どうぞ。」と、宝箱の中から**品物カード（小）**を取り出してプレゼントします。

L1
パソコンが欲しいです。

S1
パソコンですね～。
はい、どうぞ。

S2
バイクが欲しいです。

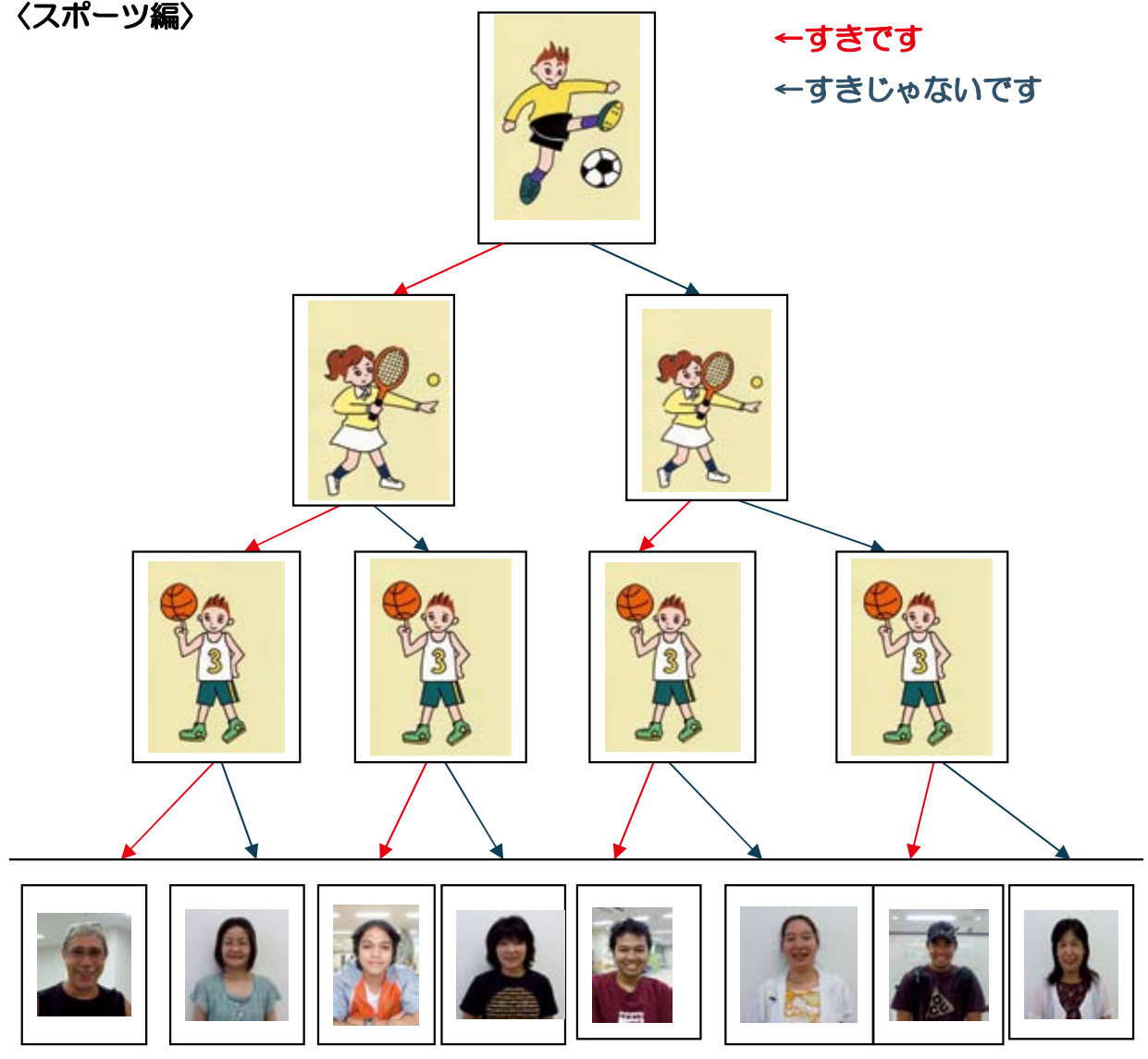
S1
ああ、そうですか～。



好きです・好きじゃないです 応用編

☆   ゲーム

〈スポーツ編〉



- ・ S 1 が質問者になり、S 2 が回答者になってゲームのやり方を示します。
- ・ 学習者同志でペアになり、質問者と回答者になって、「好きですか?」「はい、好きです。」
「いいえ、好きじゃないです。」と言いながら、矢印をたどっていきます。
- ・ ①～⑧のゴールには、**インタビュー1**の結果により、学習者やスタッフの写真と名前を入れてカバーしておきます。
- ・ ゴールのカバーをめくると、気が合いそうな教室の仲間が笑っています。
- ・ いろんなパターンで作っておくと、何回も楽しく練習ができるでしょう。



欲しいです 応用編

^v^ にこにこ けいじはん

() は



が欲しいです。

をあげます。



()

へ行きませんか。



()



学習者にカードを渡し、欲しい物・あげたい物・行きたい所と自分の名前を書いてもらい、ボードに貼っていきます。
他の学習者やスタッフの目にとまり、何かが始まるかも……。
学習者に応じて、『「形容詞」+「名詞」が欲しいです。』など、
カードに書き込む内容を変えましょう。



4 買い物に行こう！

4 買い物に行こう！

欲しいものを探して
買いましょう！



*○○が欲しいんですけど。

*○○はどこですか？

*すみません。

*（形容詞）ですねえ。

*○○にあります。

*おねがいします。

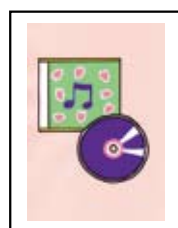
*（形容詞）○○はありますか？

（１） お店をさがそう

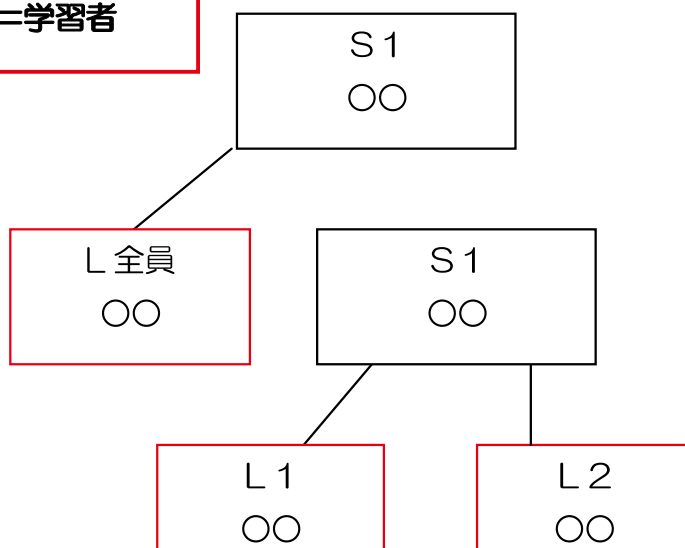
① 欲しい物とお店の名前を言う・・・パソコン・カメラ・・・

品物カード（大・小）・建物写真カードを使います。

- ・ 品物カード（大）を使って名前を言います。



S=スタッフ
L=学習者



- ・ カードのジャンル・枚数等は参加者に応じて選びます。
- ・ スタッフ１が学習者に**品物カード**を見せながら言います。
- ・ 学習者全員で繰り返す、一人ひとりが言う、好きなカードを取って言うなど、何回も言えるように工夫しましょう。

・ ・ ・

建物写真カードを使って、同様に店の名前を言います。



ジャスコ



デオデオ



フタバ



インタビュー2で調べた、
学習者がよく行くお店の写真を使います。

- 建物写真カードを置いて、品物カード（小）の名前を全員で言いながら、売っているお店の写真の上に置いていきます。



品物カードを見せてお店の名前を言ってもらったり、建物写真カードを見せて品物の名前を言ってもらったり、品物カードを渡して建物写真カードの上においてもらったりして楽しんでね。

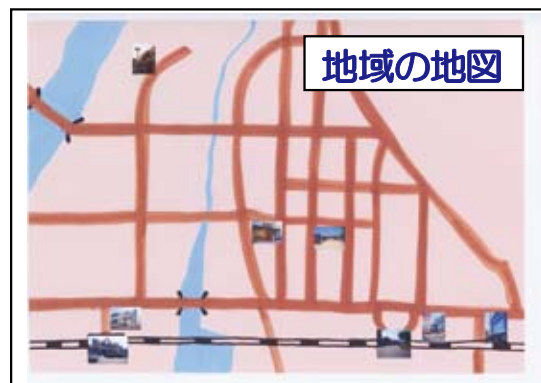


② 欲しいものを売っているお店を聞く

- ・・・パソコンが欲しいんです。パソコンはどこですか？
デオデオにありますよ。

地域の地図（よく行くお店の写真が貼り付けてあるもの）・**品物カード（大）**
建物写真カードを使用する。

- S1は**品物カード（大）**を持って「〇〇が欲しいんですけど」と言います。
- 次に、**?カード**を持って、**地図**上で動かしながら「どこですか？」をくり返します。



S1がS2に話しかけてS2が例を示します。

S1
△△さん
パソコンが欲しいんですけど。
パソコンはどこですか？

S2
デオデオにありますよ。

S1
デオデオですね。
ありがとう。

- S2は地図を指し示しながら言って、**品物カード（小）**をお店の写真の上に置きます。

- 学習者に好きな**品物カード（小）**を選んでもらって質問するようにすすめます。
- 学習者1が話したら、学習者2・学習者3・・・へ同様に話しかけます。
- 探す商品や役割を変えながらくり返します。

(2) スーパーで欲しいものを探そう。

・・・すみません、塩が欲しいんですけど。塩はどこですか？

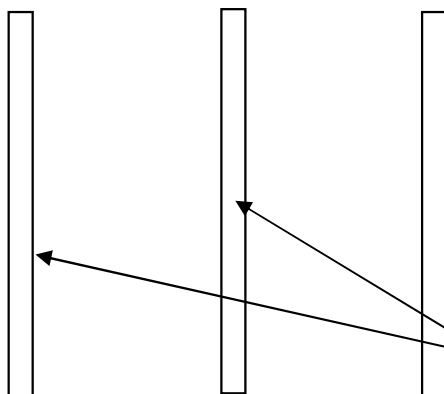
パネル・品物カード（大・小）・買い物かごを使います。



さあ！スーパーにやってきました。
欲しいものを探して、買いましょう。
「お店屋さんごっこ」のノリで楽しくね。



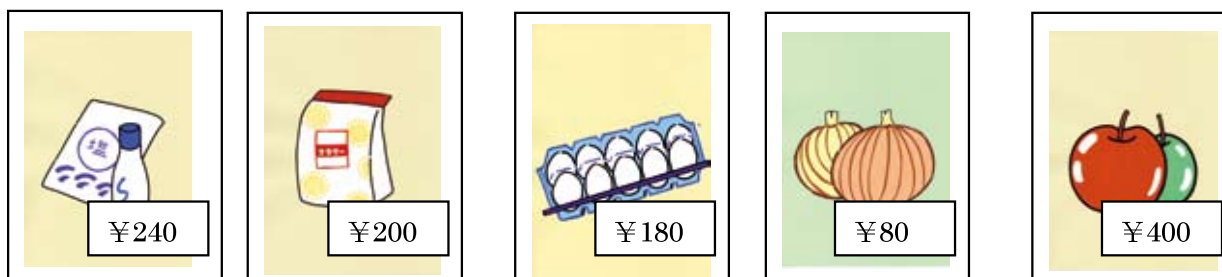
・ **パネル**や机を使って模擬店を作ります。



- ・ パネルに値札をつけた**品物カード**をたくさん掛けて、スーパーの売り場のようにします。
- ・ 実際に通路を案内する動作などができるように、ゆとりを持たせてください。

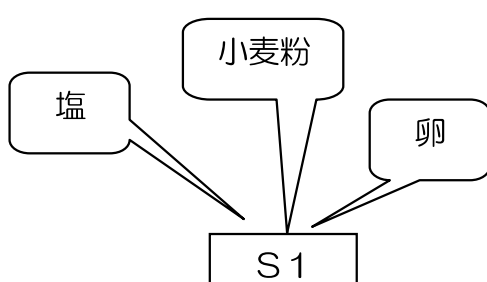
品物カード（大）を掛けた**パネル**

・ 机の上には、スーパーで売られている**品物カード（小）**をたくさん並べておきます。



- ・ S1 が学習者に**品物カード**を見せながら名前を言います。
- ・ 学習者全員で繰り返す、一人ひとりが言う、好きなカードを取って言うなど、何回も言えるように工夫しましょう。

① 商品の名前を言う・・・りんご・卵・・・

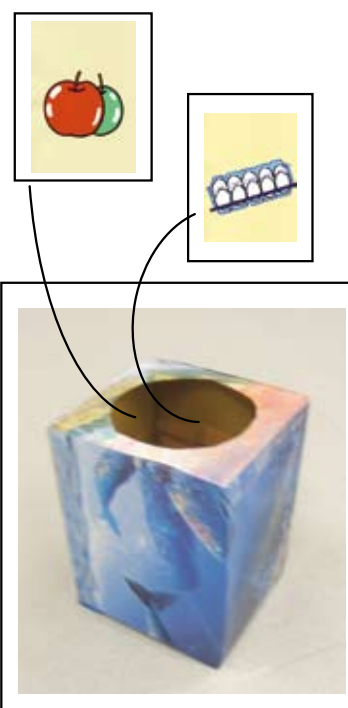


カードのジャンルや枚数等は、参加者に合うものにしましょう。

*カルタ取りのように、S1 が名前を言ってみんなで取ります。名前を言う役は次々と変わります。

*学習者が順番に、箱からカードを取り出して言います。

模擬店のパネル



実際の教室では、商品の写真に端数のない値札をつけて商品カードとして使っています。

② 模擬店でロールプレイ

S1
すみません、
小麦粉が欲しいんですけど…
小麦粉はどこですか？

S2
こちらです、どうぞ。

S1
ありがとう。

- ・ S1は欲しい物を選んで、学習者の前で「〇〇が欲しいです。」と言った後で、模擬店に向かいます。

- ・ S2はS1が選んだ**品物カード（大）**の前まで案内します。

- ・ 「ありがとう」と言って**品物カード（大）**をパネルからははずして**買い物かご**に入れて戻ります。



- ・ 全員・個人で練習してからロールプレイします。
- ・ 学習者が選んで活動した**品物カード（小）**はプレゼントしましょう。



実際の教室活動の際は、学習者がよく買う
商品を調べて、写真に撮って加工します。



お買い物 応用編

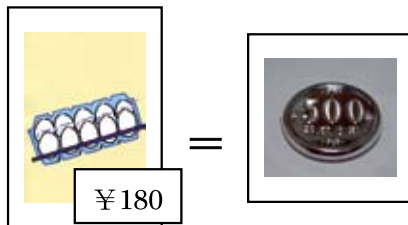


学習者の習得状況や意欲に応じて、
(2) の後に加えてみてください。

① 代金を払う。・・・お願いします。ありがとう。

品物カード (大)・おもちゃのお金を使います。

- まず、お金の種類の確認をして、商品の値段を見て代金を切り上げた紙幣を選ぶように練習します。



S2
いらっしゃいませ。
(計算して)
880 円です。

S1
お願いします。

S2
120 円のお返しです。
ありがとうございました。

S1
ありがとう

- S1 はレジ係役S2のところに、**品物カード (大)** の入ったかごを持っていきます。
- 支払いは代金を切り上げた紙幣で済ませます。

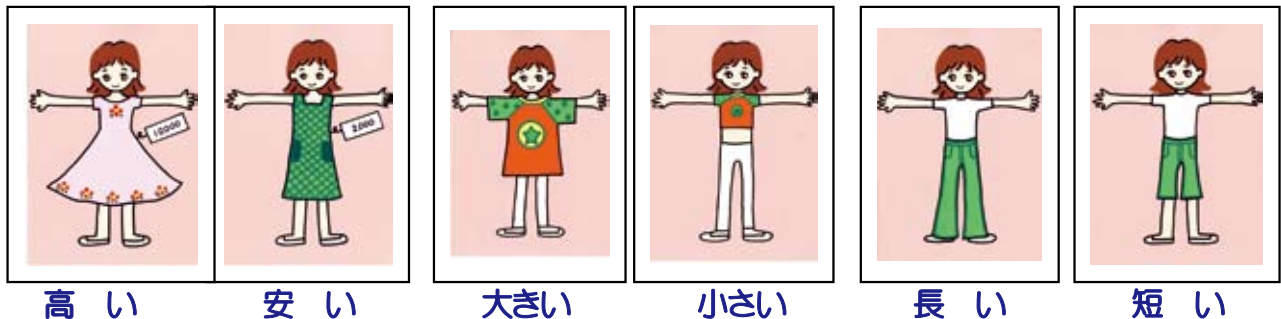


おもちゃのお金

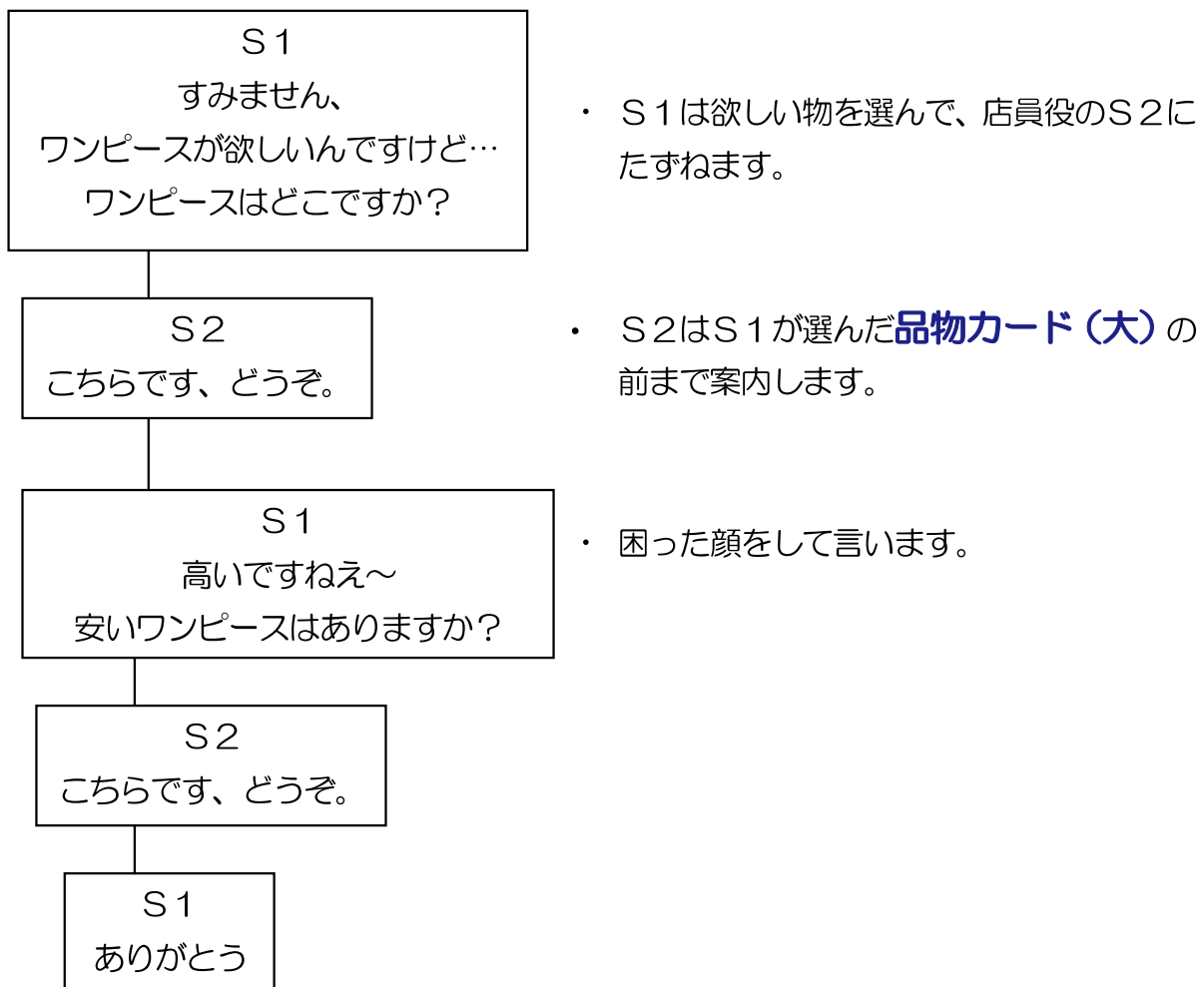
② 欲しいものを詳しく言う

・・・(高い) ですね～。(安い) (ワンピース) がありますか？

形容詞の絵カード・品物カード (大・小) を使用します。



- 名詞と形容詞を導入、練習してから、S 1 と S 2 で例を示します。



- 形容詞カード**と**品物カード**を使って練習してからロールプレイをします。

小さいですねえ～
大きい〇〇はありますか？

長いですねえ～
短い〇〇はありますか？